

物語解析講義
ニュークリティック 二回目

1

ニュークリティックの手法

インテンショナル・ファラシー理論

作者の「意図」は「あいまい」だから追求しないという批評的立場

(読者の)

意図に関する誤謬・情動に関する誤謬

(作者の)

精読理論

作者の意図を排除して作品を冷静に分析しようとする立場

2

精読の具体的方法

- ① パラドックス
対立する要素が同時成立する場合
- ② テンション
表の意味と裏の意味が並列している場合
- ③ アイロニー
直接的な意味が逆の結果を示す場合
読者と作者の間に逆の感情を有した距離感が出る場合
- ④ イメジャリー
単語のイメージが後に影響を及ぼす場合
色・形・動き・意味・象徴……
- ⑤ アンビギュイティ (あいまい)

3

同じ語を繰り返し使用する イメジャリー

「羅生門」の「下人」の設定

下人は七段ある石段の一番上の段に、洗いざらした紺の襦の尻を据えて、右の頬に出来た、大きな面皰を気にしながら、ぼんやり、雨のふるのを眺めていた

「場面転換」での応用

それから、何分かの後である。羅生門の楼の上へ出る、幅の広い梯子の中段に、一人の男が、猫のように身をちぢめて、息を殺しながら、上の容子を窺っていた。楼の上からさす火の光が、かすかに、その男の右の頬をぬらしている。短い髪の中に、赤く膿を持った面皰のある頬である。下人は、始めから、この上にいる者は、死人ばかりだと高を括っていた。

4

同じ語を繰り返し使用する イメジャリー

下人は、太刀を鞘におさめて、その太刀の柄を左の手でおさえながら、冷然として、この話を聞いていた。勿論、右の手では、赤く頬に膿を持った大きな面皰を気にしながら、聞いているのである。しかし、これを聞いている中に、下人の心には、ある勇気が生まれて来た。それは、さつき門の下で、この男には欠けていた勇気である。そうして、またさつきこの門の上へ上って、この老婆を捕えた時の勇気とは、全然、反対な方向に動くこととする勇気である。下人は、餓死をすか盗人になるかに、迷わなかったばかりではない。その時のこの男の心もちら云えば、餓死などと云う事は、ほとんど、考える事さえ出来ないほど、意識の外に追い出されていた。「きっと、そうか。」

老婆の話が完了と、下人は囁くような声で念を押した。そうして、一足前へ出ると、不意に右の手を面皰から離して、老婆の襟上をつかみながら、囁みつくようにこう云った。

にぎびを気にすること =
今まで縛られていた法や宗教的論理をきにくること

5

Dr.セッキ
日本文化研究所
2014

運動のイメージラリー

朝の歌 中原中也
天井に突きいらいで
戸の隙を 残れ入る光、
響びたる 華楽の響ひ
手にてなすなにごともなし。




小鳥らの うたはさこえず
空は今日 はなだ色らし、
籠んじてし人のこころを
運める なるにもなし。




樹影の香に 朝は病まし
うしなひさまさまのゆめ、
森は 風に鳴るかな

ひろがりてひらかの空、
上手づたひさえてゆくかな
うつくしきまさまの夢。

6

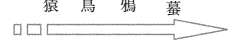
Dr.セッキ
日本文化研究所
2014

テーマイズム (テーマ批評)

すると、老婆は、見聞していた眼を、一層大きくして、じっとその下人の顔を見守った。のろくなった、肉食鳥のような、鋭い眼で見たのである。それから、臆で、ほとんど、鼻と一つになった唇を、何か物でも囁んでいるように動かした。細い喉で、突った喉仏の動いているのが見える。その時、その喉から、響の響くような声が、響き響き、下人の耳へ伝わって来た。

「この髪を抜いてな、この髪を抜いてな、髪にしようと思うたのじゃ。」
下人は、老婆の容が存外、平凡なのに失望した。そうして失望すると同時に、また前の顔容が、冷やかな御座と一しよに、心の中へはいって来た。すると、その気色が、先方へも通じたのであろう。老婆は、片手に、まだ死骸の顔から奪った長い抜け毛を持ったなり、獲のつぶやくような声で、口ごもりながら、こんな事を云った。

恐怖、不思議 理解、平凡
異様、謎 猿 鳥 鴉 養 下位の弱者



7

Dr.セッキ
日本文化研究所
2014

テーマ (イメージ) 批評

作者の意図的な配置を見抜くのではない

(例) サザエさん (海モノつながり)
ジョジョの奇妙な冒険 (海外のバンド名つながり)

作家の意図以下、無意識以上を見抜く微妙さ

(例) 運動法則
色
感覚
形態

8

Dr.セッキ
日本文化研究所
2014

イメージラリーの応用

① コントラスト効果

夕焼け空魚けきはまれる下にして
凍らむとする湖の静けさ

② イメージの連鎖効果

人間は適当な連鎖が意外と出来ない
言葉 = (音、意味、イメージ)

類似性 近似性 反意性 包摂性 類縁性 外延性

9

Dr.セッキ
日本文化研究所
2014

「あいまい」の7つの型

W・エンブソン 『あいまいの7つの型』

- 1 一つの文が、同時にいくとおりにか働く場合
- 2 二つ以上の意味の複合が単一の意味になる場合
- 3 二つ以上の意味が一つの単語で現れている場合
- 4 二つ以上の意味が相互に矛盾しながらも成り立つ場合
- 5 比喩が二つ以上の連想を呼び起こす場合
- 6 少なくともその場では前後に文脈を発生出来ない場合
- 7 そもそも意図が分裂している場合

10

「あいまい」を積極的に評価した ニュークリ

ニュークリ以前

アンビシャス=読者の読解上の限界・力不足

作者の構成上の限界・力不足



ニュークリ以後

アンビシャス=読者によって完成される場所

読者論の「空白理論」へ

11

Handwriting practice lines (dashed lines on a solid line background).

パラドックス

Dr.セッキー
日本文化研究所
2014

~~キャラクターの場合~~

~~複数の対立キャラを設定する~~

ヤンキー君とメガネちゃん 下妻物語

花より男子

一つのキャラクター設定に矛盾要素を入れる

冷たさの中に隠された優しさを持つ

すぐ怒るがお人好し



12

Handwriting practice lines (dashed lines on a solid line background).

パラドックス

Dr.セッキー
日本文化研究所
2014

平和のための戦争である。

戦争をするのは平和のためである。

人民あるいは人類のためにその平和のために人民を殺さなければならない。

人を殺すのはすべて平和のためであり人を殺すためではない。

人を殺すためではないが人を殺すのである。

話はいよいよこみ上げてきて人を殺す遊戯も平然はじまるのである。

草野心平 「サリム自伝 蛙・作品第一二一番」

13

Handwriting practice lines (dashed lines on a solid line background).

パラドックス

Dr.セッキー
日本文化研究所
2014

春に/歌詞

作詞：谷川俊太郎

作曲：木下敬子

この気持ちなんだろう

この気持ちなんだろう

目に見えないエネルギーの震れが

大地からあしのうらを伝わって

この気持ちなんだろう

この気持ちなんだろう

ぼくの眼へ胸へそしてどへ

14

Handwriting practice lines (dashed lines on a solid line background).

アイロニー の構造

Dr.セッキー
日本文化研究所
2014

読者

テキスト

語り手

美学的な作者

人物A

人物B

人物A

人物B

人物A

人物B

人物A

人物B

受けるものが死んだ時には、自殺しなげありません。
受けるものが死んだ時には、それより先に、方法がない。
けれどもそれでも、誰（？）が喋って、なほもながらふこともなつたら、
叙述の気持ちに、なることなんです。
受けるものは、死んだのでから、たしかにそれは、死んだのでから、
もはやどうにも、ならぬのでから、そのものために、そのものために、
叙述の気持ちに、ならなげあならない。
叙述の気持ちに、ならなげあならない。

15

Handwriting practice lines (dashed lines on a solid line background).

